

令和6年度  
國學院大學  
オープンカレッジ

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

雪の色を 奪ひて咲ける 梅の花  
今盛りなり 見む人もがも



萬葉集 卷第五 八五十

由吉能伊呂遠 有婆比豆佐家流 有米能波奈  
伊麻左加利奈利 弥牟必登母我聞

雪の色を 奪ったかのように白く咲いている 梅の花は  
今満開だ 誰かに見せたいものだ



梅の花  
萬葉の花の会 提供

# 國學院大學

## オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学問等を問わずすべての方に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年に7講座で産声を上げました。皆様に支えられ、これまで多くの方々にご受講いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年度は、従前からの開講形態を「対面講座」、再開した書道講座を「実技講座」として、すべて対面により実施することができました。今年度も新規7講座を加えた「対面講座」と「実技講座」により、全29講座を開講いたします。

受講者の皆様にとって、本学のオープンカレッジが豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

## 建学の精神

### 國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道徳の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顕義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

### 個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)におきまして、①受講手続、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡および手続、③オープンカレッジ開催施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、④受講者本人に送付する各種書類の発送およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

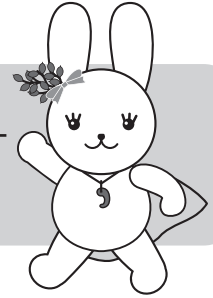
上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンターより当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」と言います)において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。



## 開講講座(全29講座)

申込方法については30ページをご参照ください。  
申込締切：3月27日(水)



### 目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内	4
オープンカレッジの受講にあたって	6

### ◆対面講座

N0	講座名	講師	回数	時期	ページ
01	神道を知る講座19 -平安貴族と神々の世界-	岡田 莊司	10	通年	8
02	出雲大社の歴史 -神代から現代までたどる-	西岡 和彦	10	通年	9
03	神話学からみる世界	平藤喜久子	5	前期	9
04	『古事記』上巻を読む -序文・天地初発-	渡邊 卓	10	通年	10
05	万葉古代学アラカルト -旬の話題を取り入れて-	上野 誠	5	通年	10
06	万葉集を読む -巻四を読み直す-	土佐 秀里	10	通年	11
07	水中考古学と中世考古学 -海から眺める日本中世の世界-	池田 榮史	10	通年	11
08	源氏物語の巻々を読む -「少女」～「藤袴」-	竹内 正彦	10	通年	12
09	古典和歌入門 -和歌をどう読み解くか-	荒木 優也	5	後期	12
10	能と文学18 -古典文学から能へ-	岩崎 雅彦	10	通年	13
11	松尾芭蕉の紀行文を読む -『おくのほそ道』-	中村 正明	10	通年	13
12	やさしい「日本語学」再入門	小田 勝	5	前期	14
13	『源氏物語』全講(1)	小田 勝	5	後期	14
14	文学の風景 -小説のなかの〈語り手〉-	岡崎 直也	5	前期	15
15	『論語』を読む -朱熹の解釈・日本人の見解-	石本 道明	10	通年	15
16	漢文古典を学ぶ	浅野 春二 他	5	後期	16
17	民俗伝承学から日本文化を読む1 -すぐ忘れる日本人の精神構造：民俗学の視点で日本歴史のなかにその形成過程を探る-	新谷 尚紀	5	前期	17
18	民俗伝承学から日本文化を読む2 -すぐ忘れる日本人の精神構造：民俗学の視点で日本歴史のなかにその形成過程を探る-	新谷 尚紀	5	後期	17
19	古典と民俗学4	大石 泰夫 他	10	通年	18
20	吾妻鏡を読む	高橋 秀樹	5	後期	19
21	徳川家康の再評価Ⅱ	矢部健太郎	5	前期	19
22	歴史にみる日本の地域と景観 -歴史地理学入門-	川名 禎	10	通年	20
23	江戸時代の古文書を読む	根岸 茂夫	10	通年	20
24	世界の中の日本 -2つの戦争と揺れる国際秩序-	久保田るり子	10	通年	21
25	歴史の捉え方・全国の城60城(3) -その城を巡る人間模様-	松平 定知	10	通年	22

### ◆実技講座

実技講座「書道」の受講にあたって	23
------------------	----

N0	講座名	講師	回数	時期	ページ
26	漢字(一)〈中級・上級〉 -行書・般若心経-	野村ひかり	10	前期	24
27	漢字(二)〈中級・上級〉 -集字聖教序-	野村ひかり	10	後期	24
28	仮名(一)〈中級〉 -仮名書道の楽しみ(散らし書き)-	橋本 貴朗	10	前期	25
29	仮名(二)〈中級〉 -寸松庵色紙-	橋本 貴朗	10	後期	25



- オンライン公開講座専用HPのご案内 ..... 26
- エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介 ..... 28
- 國學院大學博物館のご紹介 ..... 29
- 國學院大學萬葉の花の会 ..... 29
- オープンカレッジ申し込み方法 ..... 30
- 「受講申込書」記入例 ..... 32
- 「受講申込書」(FAX用)
- 「受講申込書」(ハガキ)

## 講座内容の見方

渋谷キャンパス

# 02

## 出雲大社の歴史 - 神代から現代までたどる -

木曜日  
14:30~16:00

**講師**



**新**

國學院大學  
教授・博士(神道学)  
にしおか かずひこ  
**西岡 和彦**

【専門分野】 神道思想史・  
神道神学

**講座内容**

本講座は、本年度からスタートします。そこで、わが国でもっとも有名な神社のひとつである出雲大社について、歴史的に、また神学的にと、多角的に見ていきたいと思ひます。

出雲大社はわが国でもっとも古い神社のひとつです。たとえば、神社のご由緒ばかりか、ご祭神や司祭者のご由緒まで、すべてが、わが国で最も古い書物である『古事記』『日本書紀』(記紀)に記されています。しかも、現代も変わりなく続いているのは唯一といってもよいでしょう。

そこで本年度は、記紀を中心に、出雲大社創建までをゆっくり見ていきたいと思ひます。

第1回 出雲大社を概観する  
サノオと出雲 - ヤマトノオロチと草薙剣 -  
すがすがし」と発した地はどこか - 出雲大社の説と本居宣長の説ほ

サノオとオオクニヌシ - 試練と大国主の命名 -  
第5回 オオクニヌシとスクナヒコナ - 国作りと産業開発 -  
第6回 オオクニヌシと幸魂奇魂 - 国作りの完成と和魂 -  
第7回 オオクニヌシと大神神社 - 大物主神と近き守り神 -  
第8回 オオクニヌシと国譲り - 天つ神と国つ神 -  
第9回 出雲大社の創建(1) - 『古事記』から -  
第10回 出雲大社の創建(2) - 『日本書紀』から -

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

締切前に定員に達することがございます。

本学HPの教員紹介ページへアクセスできる二次元コードです。



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧いただけます。

テキスト 資料を配付します

講座の定員は先着順です。締切前に定員に達することがございます。

受講にあたり、**必須**となります。

講座開始までにご用意ください。講座の際に講師から配付される場合と、事前に書籍等をご用意いただく場合がございます。

テキスト欄に書籍が記載されている場合は、講座開始までにご自身でご用意ください。

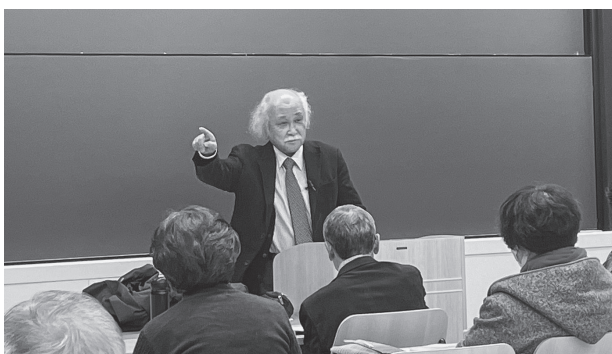
※大学生協(渋谷)でも、一部販売しております。

# 國學院大學オープンカレッジのご案内

※ご受講前に必ずご一読ください

## オープンカレッジ講座について

- すべて渋谷キャンパスで開講いたします。
- 講座は通年または半期で完結となります。
- 大学、講師の都合等により講座を中止することがあります。
- 受講者数が10人に満たない場合は、講座を中止することがあります。



「民俗伝承学から日本文化を読む2」講座風景(令和5年度)



「仮名(二)」講座風景(令和5年度)

## ◆ 会員特典 ◆

オープンカレッジは会員制を設けており、初めて受講する際は申し込み時に会員登録を行っていただきます。(有効期限はありません)

オープンカレッジ会員にご登録いただくと、**学びをサポートする様々な特典**がございます。

1. **エクステンションセンターの主催講座をご案内いたします。**

2. **國學院大學図書館の閲覧利用が可能となります。** ※貸出利用は出来ません。

### [利用方法]

オープンカレッジ会員証と受講証を図書館へ持参し、所定の手続きを行ってください。

※受講年度に限ります。

※利用の詳細は、國學院大學図書館へお問い合わせください。

■國學院大學図書館 (TEL: 03-5466-0159)

3. **大学生協で書籍や文具が割引で購入できます。**

割引利用の際は、「**オープンカレッジ会員証**」をご提示ください。

※利用の詳細は、大学生協へお問い合わせください。

■國學院大学 生協 渋谷キャンパス

3号館地下1階 (TEL: 03-5466-0166)



生協書籍売場

## 受講料の割引制度について

対面講座の場合、会員区分によって受講料が異なります。※実技講座「書道」を除く。

【以下の会員区分の方は、受講料が半額となります】

- 当該年度の國學院大學の学部生・大学院生
- 若木育成会会員
- 渋谷区・横浜市青葉区在住者
- 他校の学生

※詳細は30・31ページ「オープンカレッジ申し込み方法」をご覧ください。

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金
1	一般	全 額	¥5,000
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000

## 会員紹介制度 是非ご活用ください！

新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が講座を受講された場合には、紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。

## 単位制度・修了について

- 単位数は各講座のページにある単位数をご参照ください。
- 単位取得要件は、3分の2以上の出席(5回講座 3回、10回講座 7回)となります。
- 累積取得単位が32単位になった時点で、「**國學院大學オープンカレッジ修了証**」を授与いたします。  
なお、修了後も継続してご受講いただけます。



「令和4年度 修了証授与式」の様子

(國學院大學 若木タワー18階 有栖川宮記念ホール)



## オープンカレッジの受講にあたって

※ご受講前に必ずご一読ください

### 受講のキャンセルについて

- 受講申込後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。

### 休講の場合

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則補講を行います。
- 休講・補講となった場合はエクステンションセンターから連絡させていただきます。  
お申込み際に、ご連絡の取りやすい電話番号・メールアドレスをお知らせください。

### 欠席された場合

- 欠席のご連絡は必要ありません。
- 各講座のレジユメは、エクステンションセンター(渋谷キャンパス若木タワー3階)にて保管しております。  
お休みされた日のレジユメをご希望の場合はエクステンションセンターまで直接お問い合わせください。  
(講座によって講師の方が保管している場合もございます)

### その他注意事項

- 申し込み締切以降でも、人数に余裕がある講座は開講初日の10日前まで申し込み受付をいたします。締切日以降にご受講を希望される場合はエクステンションセンターまでお問い合わせください。
- 住所等に変更があった場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 講座の録画・録音はご遠慮ください。
- 大学構内は禁煙です。指定場所以外での喫煙はできません。
- 駐車場がありませんので、自動車・バイク・自転車でのご来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 前の講座が終わるまで教室に入らないでください。
- 講師やほかの受講者、または本学に対し迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります。  
(教室からの退出や、オープンカレッジ退会をお願いすることがあります)
- レジユメの郵送は行っておりません。
- 個人情報保護の観点から、講師や会員の住所・連絡先をお教えすることはできません。

# オープンカレッジFAQ

お困りの際は  
こちらのページを  
ご覧ください!!

## Q1. 受講にあたって事前に用意するものはありますか？

A. テキストが指定されている場合は、購入が必須となります。

## Q2. 講座を欠席する場合、連絡は必要ですか？

A. 欠席にあたって、エクステンションセンターへのご連絡は必要ございません。  
資料が配布される場合は、後日お渡しすることができます。  
ご希望の際はエクステンションセンターにお立ち寄りください。  
[開室時間 平日9：00～17：00]

## Q3. 申込締切日を過ぎてからでも申し込みはできますか？

A. 定員に達していない場合はお申し込みいただけます。ただし数回講座終了している場合でも、受講料の減額等はできません。

## Q4. 大学の図書館を利用するにはどのような手続きが必要ですか？

A. 図書館に直接会員証と受講証をお持ちの上、受付の方に「オープンカレッジでの利用です」とお伝えください。

## Q5. 教室に忘れ物をしてしまった場合はどこに問い合わせをすればよいですか？

A. エクステンションセンターへご連絡ください。落とし物を預かっている部署へご案内いたします。

## Q6. 会員証・受講証を紛失した場合どこに問い合わせをすればよいですか？

A. エクステンションセンターへご連絡ください。再発行の手続きを行います。

### 問合せ先

國學院大學エクステンションセンター 渋谷キャンパス若木タワー3階

〈TEL〉 03-5466-0270

〈e-mail〉 jigyou@kokugakuin.ac.jp

講師



國學院大學  
名誉教授・博士(歴史学)  
研究開発推進機構客員教授  
おかだ しょうじ  
**岡田 莊司**

専門分野 天皇祭祀儀礼・  
古代中世神道史

講座内容

本学は創立以来、神道の学問研究と神職の養成につとめ、神道を広く国内外へ発信してきました。その成果は大学博物館の神道資料展示で公開されています。

あなたの信仰は？と問われたとき、毎年家族で初詣に出かけていても、神道と答える人は少ないようです。でも、それが神道の特色であるともいえるでしょう。古代いらい生活文化のなかに浸透してきた神道は、他宗教とは違って教団としての組織力が弱く、宗教としての認識も少なく、教化活動においても控え目な印象が強いといわれます。

神道を言葉化することは難しいといわれますが、学問による理解によって、神道信仰を深め、次世代に伝えていきたいと念じております。國學院に受け継がれてきた「國學院神道」の学問は、戦前・戦後の教授・研究者によって、学問と自身の信仰とが一体となって構築されてきました。こうした先人の先生方の思いを受け継ぎ、わたしも学問と信仰と人生とを完結できる、この講座に生き甲斐を感じながら、講義をすすめていきます。

本年は「平安貴族と神々の世界」と題して、古代から中世へ至る転換期の神祇・神道について考察していきます。古代後期には、御霊信仰と人霊祭祀がはじまり、神仏習合も最盛期を迎え、庶民の信仰も隆盛して、現代の神道に大きく近づきました。30年前、学位論文である拙著『平安時代の国家と祭祀』(1994年、続群書類従完成会)を刊行しましたが、これに加えて今回新しい視点も組み入れ、紫式部と『源氏物語』の時代の神祇信仰の世界を読み解いていきます。

第1回	総説・紫式部の時代の信仰世界
第2回	伊勢祭祀と公祭・臨時祭
第3回	平安京の祭祀、賀茂葵祭
第4回	御霊信仰と天神信仰
第5回	二十二社と諸国一宮
第6回	都市の祭礼、祇園御霊会と稻荷祭
第7回	八幡信仰と石清水放生会
第8回	神社行幸と御幸
第9回	熊野信仰と熊野詣
第10回	春日信仰と春日若宮おん祭り

4月	10日、24日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
10月	2日、16日
11月	13日、27日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます



02

出雲大社の歴史 — 神代から現代までたどる —

木曜日

14:30~16:00

講師



新

國學院大學  
教授・博士(神道学)  
にしおか かずひこ  
**西岡 和彦**

専門分野 神道思想史・  
神道神学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、本年度からスタートします。そこで、わが国でもっとも有名な神社のひとつである出雲大社について、歴史的に、また神学的にと、多角的に見ていきたいと思えます。

出雲大社はわが国でもっとも古い神社のひとつです。たとえば、神社のご由緒ばかりか、ご祭神や司祭者のご由緒まで、すべてが、わが国で最も古い書物である『古事記』『日本書紀』(記紀) に記されています。しかも、現代も変わりなく続いているのは唯一といってもよいでしょう。

そこで本年度は、記紀を中心に出雲大社創建までをゆっくり見ていきたいと思えます。

- 第1回 出雲大社を概観する
- 第2回 スサノオと出雲 — ヤマトノオロチと草薙剣—
- 第3回 「すがすがし」と発した地はどこか — 出雲大社の説と本居宣長の説ほか—
- 第4回 スサノオとオオクニヌシ — 試練と大国主の命名—
- 第5回 オオクニヌシとスクナヒコナ — 国作りと産業開発—
- 第6回 オオクニヌシと幸魂奇魂 — 国作りの完成と和魂—
- 第7回 オオクニヌシと大神神社 — 大物主神と近き守り神—
- 第8回 オオクニヌシと国譲り — 天つ神と国つ神—
- 第9回 出雲大社の創建(1) — 『古事記』から—
- 第10回 出雲大社の創建(2) — 『日本書紀』から—

4月	18日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
9月	26日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます。

テキスト 資料を配付します

対面講座

03

神話学からみる世界

土曜日

10:30~12:00

講師



新

國學院大學  
教授・博士  
(日本語日本文学)  
ひらふじ きくこ  
**平藤 喜久子**

専門分野 神話学・宗教学・  
宗教史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

どのようにして世界は生まれたのか、人はどのようにしてこの世に存在するようになったのか、人はなぜ死ぬのか、など根源的な問いを人は抱いてきました。それに対する答えとして生み出されてきたのが神話だといついでしょう。神話は、さまざまな問いに神を主人公として答える物語として生み出されてきました。つまり、神話をみることで、人がどのようなことに疑問を持ち、何を知りたいと思ひ、どのように世界を把握してきたのかを知ることができます。神話は、神の話ではありますが、人間を知る話であるともいえます。

神話学とは、さまざまな地域の神話や伝説を比較対照させていながら、文化について人間について考える学問であるといついでいいと思ひます。

この講座では、神話学の見方で神話を読み解いていります。たとえば、神々が住む世界や世界のはじまりかた、人間の作られ方などです。日本神話を中心にすえ、ギリシャ神話や北欧神話、ときには聖書なども参考にしながら学んでいく予定です。

4月	20日
5月	11日、25日
6月	8日、22日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『世界の神様解剖図鑑』 エクスナレッジ

04

『古事記』上巻を読む 一序文・天地初発一

火曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
准教授・博士(文学)  
わたなべ たかし  
**渡邊 卓**

専門 日本上代文学・  
分野 神道古典・国学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

今年度より『古事記』をはじめから通読して行きます。『古事記』は、今から1300年以上前に編纂された、現存最古の古典作品です。その根拠となるのが『古事記』に付されている序文です。序文は、君主に奉る上表文の形式で書かれ、文体は中国様式に準じているため、語句によっては漢籍などに典拠を求められます。序文の内容は全体で三段にわかれ、いかにして『古事記』が編纂されたかを語ります。そして、序文に続き『古事記』の物語がはじまるのです。『古事記』は上中下巻の三巻にわかれ、上巻は「天地初発之時」と書き出されます。上巻も高天原という神話世界を舞台に、様々な神々の活躍が描かれて行きます。

『古事記』には神話とされる神々の物語をはじめ、神から始まる系譜、それに連なる天皇の物語、そして歌謡伝承と様々な要素が含まれています。本講座では『日本書紀』『万葉集』『風土記』などの他文献と比較しながら、『古事記』を読むことで『古事記』の特質を明らかにしていきます。ときには神道学や考古学の知見も活用して『古事記』が描く世界観を学んでいきます。『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、丁寧に講義を進めて参ります。

5月	21日
6月	4日、18日
7月	2日、16日
10月	1日、15日、29日
11月	19日
12月	3日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

05

万葉古代学アラカルト 一句の話題を取り入れて一

火曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授(特別専任)・  
奈良大学名誉教授・博士(文学)  
うえの まこと  
**上野 誠**

専門 万葉文化論・芸能伝  
分野 承論・折口信夫論・  
万葉挽歌の史的研究・  
日本古代文学研究



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

輝かしい古代学の伝統のある國學院大學。一方、日進月歩で進む、古代学。私たちは、どう古代と向き合えばよいのか。『万葉集』を基本としながら、考古学、歴史学の新潮流について、じっくりとお話します。

古代の官道がわかれば、万葉歌人が歩いた道がわかります。平城京から出土した木簡に記された文字が、古典研究の新視点を生み出すこともあります。万葉びとの生活と生活実感(モノとコト)。生活実感から生み出される表現(アヤ)。この二つを結びつけることができれば、私たちは、立体的に『万葉集』を読むことができます。「二次元の『万葉集』を三次元に」を合言葉に、情熱を込めて語ってゆきたいと思っています。いにしへの文に学び、伝統に学ぶ古代学アラカルトは、その時々で古代学の新潮流を取り上げてゆきたいと思えます——。学びに遊び、遊びに学ぶの精神で、たのしい講義を心がけます。

4月	16日
5月	14日
10月	8日
11月	12日
12月	10日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円  
締切日前に定員に達することがございます。

テキスト 資料を配付します

参考書 万葉集

06

万葉集を読む ー巻四を読み直すー

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授・博士(文学)  
とさ ひでさと  
**土佐 秀里**

専門分野 上代文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本年度も巻四相聞を読んでゆきます。巻四は歌の数が多いのでなかなか終わりません。今回も昨年同様、坂上郎女と家持関連の歌がその大部分を占めています。読み進めてゆくに連れ万葉相聞歌の社交性や虚構性がはっきりと見えてきましたが、しかし虚構の根底にあるものはやはり人間的な喜怒哀楽の情感であり、そこにこそ時代を超えた普遍性があると言えます。今年もそのあたりを、個々の歌の表現の細部まで読み解くことで考えてゆきたいと思えます。

- 第1回 数にもあらぬ命以て (670~679)
- 第2回 言ふことの恐き国そ (680~689)
- 第3回 照る月を闇に見なして (690~699)
- 第4回 近からぬ道の間を (700~709)
- 第5回 み空ゆく月の光に (710~720)
- 第6回 石木にもならましものを (721~726)
- 第7回 人も無き国もあらぬか (727~734)
- 第8回 夕占問ひ足占をそせし (735~744)
- 第9回 生ける世に我は未だ見ず (745~755)
- 第10回 穢き屋戸に入れ座せてむ (756~764)

※進度はあくまでも目安で、実際にはかなりの変動がありますので、ご承知おきください。

4月	18日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
9月	26日
10月	10日
11月	7日、21日
12月	5日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

締切日前に定員に達することがございます。

テキスト 【補訂版 万葉集本文篇】 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著 塙書房 2,100円(本体価格)

参考書 『万葉集の基礎知識』 角川選書 2,400円(本体価格)  
『万葉ことば事典』 大和書房 6,800円(本体価格)  
岩波文庫・角川文庫・講談社文庫の万葉集

対面講座

07

水中考古学と中世考古学 ー海から眺める日本中世の世界ー

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
教授  
いけだ よしふみ  
**池田 榮史**

専門分野 日本考古学・水中考古学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

これまでの日本の歴史学研究や考古学研究は基本的に陸上に残る文字資料や考古資料を対象として調査研究を進めてきました。しかし、世界地図の中から見ると、日本はアジア大陸の東に連なる大小さまざまな島々によって形作られています。このことは日本の歴史や文化は周囲を取り囲む海のために、周辺地域とのつながりが閉ざされたことによって独自に発展することもあれば、海を介してさまざまな地域やそこで暮らす人々とつながることによって、新たな展開を見せることもあったはずなのです。

そこで本講座では、これまでの歴史研究や考古学研究が扱ってきた陸上に残る資料だけでなく、海を介した資料に光を当てながら、日本の中世世界について迫ってみたいと思います。日本の中世世界は武士の登場と鎌倉幕府の成立、室町幕府や応仁の乱以降の戦国大名の台頭、織豊時代を経ての江戸幕府の成立までの波乱に富んだ時代です。

そして、この間には海外との交流・交易を通じて、さまざまなモノや人、情報、技術などが伝わってきました。この時代を海から眺めたらどのように見えるか、すなわち外からの視点を加えたらどのように見えるか、受講生の皆さんと楽しみながら探ってみたいと思います。

主に取り扱う内容 (予定)

沈没船、日宋・日元・日明貿易、モンゴル襲来、琉球王国、石見銀山  
南蛮貿易、やきもの世界、倭寇など

4月	18日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
9月	26日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 文化庁文化財第二課「水中遺跡ハンドブック」  
[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/pdf/93679701\\_01.pdf](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/pdf/93679701_01.pdf)  
よりダウンロードできます。(市販はされていません)



08

# 源氏物語の巻々を読む -「少女」～「藤袴」-

金曜日

10:30～12:00

講師



國學院大學

教授・博士(文学)

たけうち まさひこ  
**竹内 正彦**

専門分野

日本中古文文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

## 講座内容

源氏物語は五十四帖におよぶ長編物語です。本講座では、源氏物語を巻ごとにとりあげることによって、この長編物語全体の内容を視野に入れながら、心の機微を豊かに表現した物語の世界に分け入っていきます。具体的には、一回につきおおむね一つの巻を対象とし、テキストを用いてそれぞれの巻の内容をとらえたうえで、各巻の名場面をとりあげて原文で読み味わい、詳しく解説をしつつ、その世界を考えていきます。

古語による表現や時代背景、当時の習俗や習慣などについてもわかりやすく解説をしていきますので、源氏物語にはじめてふれる方や、あらためて読み直そうとお考えの方はもちろん、古典に親しんでみようとお思いの方のご参加もお待ちしております。

今年度は、六条院における玉鬘求婚譚を主軸とした、「少女」巻から「藤袴」巻までをとりあげる予定です。光源氏33歳から37歳。光源氏の壮年期の物語をご一緒に読み味わってまいりましょう。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 第1回 「少女」巻 | 第6回 「常夏」巻  |
| 第2回 「玉鬘」巻 | 第7回 「篝火」巻  |
| 第3回 「初音」巻 | 第8回 「野分」巻  |
| 第4回 「胡蝶」巻 | 第9回 「行幸」巻  |
| 第5回 「蛭」巻  | 第10回 「藤袴」巻 |

4月	19日
5月	17日、31日
6月	14日、28日
10月	11日、25日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト

『2時間でおさらいできる源氏物語』（だいわ文庫）竹内正彦著  
大和書房 800円(本体価格)

参考書

『名場面味わう源氏物語五十四帖』竹内正彦著  
ベストブック 1,800円(本体価格)

09

# 古典和歌入門 -和歌をどう読み解くか-

金曜日

14:30～16:00

講師



新

國學院大學

准教授・博士(文学)

あらかき ゆうや  
**荒木 優也**

専門分野

和歌文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

## 講座内容

和歌ってわからない。必ず1度は感じたことがあるのではないのでしょうか。その一方で、何かわからないけれど和歌に興味を持っている方もいるのではないのでしょうか。

和歌はたった三十一文字（みそひともじ）しかないため、そのなかに多くの情報が詰め込まれています。その情報を読み解けるか否かが、和歌がわかる、わからないの分岐点になっているのです。…と書くと難しいように感じるかもしれませんが、なぜなのかに考えていただくと、より身近になるかと思えます。

本講座は、和歌の基礎知識を学ぶことによって、和歌の面白さを少しでも深めることを目的とします。

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 第1回 | 心をどう表すか —心物対応構造— |
| 第2回 | 言葉の駆使 —縁語・掛詞—    |
| 第3回 | 土地のイメージ —歌枕—     |
| 第4回 | 演じる —題詠—         |
| 第5回 | 季節の捉え方 —和歌の規範—   |

『百人一首』に載るような一度は聞いたことのある歌や私がいいなあと思う歌を取り上げ解説しながら、講座を進めていく予定です。

一緒に和歌を楽しみましょう。

10月	11日、25日
11月	22日、29日
12月	13日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト

資料を配付します

参考書

『和歌とは何か』 渡部泰明 岩波新書  
『短歌学入門』 辰巳正明 笠間書院

講師



國學院大學  
教授・博士(文学)  
いわさき まさひこ  
**岩崎 雅彦**

専門分野 能・狂言



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は、『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では昨年度に引き続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んで行く。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているのかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 第1回 能「土蜘蛛」     | 第6回 能「景清」   |
| 第2回 『平家物語』 剣の巻 | 第7回 幸若舞「景清」 |
| 第3回 能「鉄輪」      | 第8回 能「葵上」   |
| 第4回 能「絃上」      | 第9回 『源氏物語』  |
| 第5回 能「呉服」      | 第10回 能「善知鳥」 |

なお、希望者を対象に、能・狂言の鑑賞を予定している。

4月	25日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
10月	3日、17日
11月	7日、21日
12月	5日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『謡曲大観』 明治書院

対面講座

講師



國學院大學  
教授  
なかむら まさあき  
**中村 正明**

専門分野 近世文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものである。松尾芭蕉は深川の庵に隠棲した後、自らの俳諧を模索し極めるために、和漢の古典文学を学び、参禅をし、そして俳諧修行の旅へと出かけていった。その旅の様子は、紀行文『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』として書き継がれていった。

芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧<蕉風俳諧>を生み出すに至るのである。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけである。

今期は、芭蕉の俳業の集大成ともいえる『おくのほそ道』の続きを読み進めていく。

旅はいよいよ後半へと移り、出羽路から越後路へと進んでいきます。

- 第1回 『おくのほそ道』 最上川
- 第2回 『おくのほそ道』 羽黒 (一)
- 第3回 『おくのほそ道』 羽黒 (二)
- 第4回 『おくのほそ道』 酒田・象潟 (一)
- 第5回 『おくのほそ道』 象潟 (二)・越後路
- 第6回 『おくのほそ道』 一振
- 第7回 『おくのほそ道』 那古の浦・金沢
- 第8回 『おくのほそ道』 小松・那谷
- 第9回 『おくのほそ道』 山中
- 第10回 『おくのほそ道』 全昌寺・汐越の松

4月	11日、25日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
10月	3日、17日
11月	14日、28日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 『おくのほそ道』 萩原恭男 校注 岩波文庫 910円(本体価格)

# 12

## やさしい「日本語学」再入門

木曜日

12:50~14:20

講師



新

國學院大學  
教授・博士(文学)

おだ まさる  
**小田 勝**

専門 日本語学・  
分野 古典文法



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

### 講座内容

学生時代、日本語学（国語学）が苦手だったという方もいらっしゃると思いますが、日本語学は、我々の母語である日本語について調べる学問なので、題材によっては、社会に出た方にとって、たいへん面白いのではないかと思います。今回、一度限り、日本語学の「面白いところだけ」をお話ししますので、再び、日本語学の世界に触れてみませんか？例えば、次のようなことをお話しします。

- 1 なぜ「午前中」といえるのに、「×午後中」といえないのだろうか？
- 2 「煮る」と「茹でる」の違いはなんだろう？
- 3 「ジャイアンツに勝ってほしい」の意味は？（ジャイアンツのファンでも、アンチでも言えますね）
- 4 漫画に出てくる「博士」は、どうして「…なんじゃ」のような言葉遣いなの？

5回の講座内容は、下記の通りです。

- 第1回 国語辞典から見る日本語
- 第2回 日本語の語彙
- 第3回 日本語の方言の世界
- 第4回 国学者が切り開いた日本語文法
- 第5回 豊かな言語表現、レトリックの世界

（上記2の解答：両方とも液体を用いた加熱調理ですが、液体まで食材であるのが「煮る」、加熱に使った液体は捨ててしまうのが「茹でる」ですね）

4月 11日、25日

5月 9日、23日

6月 6日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

# 13

## 『源氏物語』全講(1)

木曜日

12:50~14:20

講師



新

國學院大學  
教授・博士(文学)

おだ まさる  
**小田 勝**

専門 日本語学・  
分野 古典文法



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

### 講座内容

今回から、『源氏物語』を、桐壺巻の冒頭から、ずっと読んで行く予定です（一定の受講者が得られて、本講座が持続すれば、ですが）。私は、日本語学、古典文法が専門ですから、「ことば」にこだわって、正確に読み解いて行きます。

例えば、桐壺巻で、光源氏を、その素性を隠して高麗の相人に見せたところ、相人は驚いて、「あまたたびかたぶきあやしむ。」という本文があります。これを、どの現代語訳もみな、「何度も首を傾けて不思議がる」と訳しています。現代語としては、たしかに、そうなるのですけれども、原文には「首が傾いて不思議がる」と書かれています。古典語では、こういう場合、こういう表現をするのです（類例は、たくさんあります）。現代語と表現が異なるのですね。古典文を「気分で」訳さず、こういうところを丁寧に注意しながら、読んでゆきます。また、「隨身（ずいしん）」「からひつ（唐櫃）」など、語の清濁にも留意します。

この講座の受講者は、古典語、古典文についての知見を深めるとともに、我々の母語である現代日本語についてもかえりみることになるでしょう。

テキストは『湖月抄』の活字本（『増註源氏物語湖月抄』、名著普及会覆刻、講談社学術文庫覆刻）を用い、その紙面と、現代語訳と、参照例文資料とを配布します。

10月 3日、17日

11月 14日、28日

12月 12日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します



講師



國學院大學  
兼任講師  
おかざき なおや  
**岡崎 直也**

専門分野 近・現代文学

講座内容

西欧自然主義の厳密な観察性、その三人称叙述が主語を要しない日本語になじみにかかったことは、近代日本において自然主義を私小説として成熟させました。小説を設計図どおりに構成し、作中人物を全知全能の神のごとく操る三人称客観小説の創作が日本人は不得手にみえます。

しかし、日本人が視野の限られた独善的な小説しか書けなかったわけではありません。一人称叙述の限界を作品にしっかりと刻み、世界のすべてを了解したと錯覚する西欧近代の三人称客観小説のいかがわしさを時に衝きもします。繋がりがつつ切れる他者との微妙な距離を慎重に推し量る〈私〉の感覚や感情は、難解な人と人との〈あはひ〉〈なからひ〉を捉え、その意味で世界を正確に映す鏡といえそうです。今年度は、実質的にほぼ〈私〉である〈彼〉もふくめて、〈語り手〉の登場する小説をじっくり読んでみたいと思います。

- 第1回 志賀直哉 「小僧の神様」(大正9年1月)
- 第2回 牧野信一 「父を売る子」(大正13年5月)
- 第3回 石川 淳 「佳人」(昭和10年5月)
- 第4回 堀 辰雄 「風立ちぬ」(昭和11年12月~昭和13年4月)
- 第5回 三島由紀夫 「詩を書く少年」(昭和29年8月)

4月	13日、27日
5月	18日
6月	1日、15日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円



資料を配付します ※対象とする作品は変更することもありますので、あらかじめご了承ください。

講師



國學院大學  
教授  
いしもと みちあき  
**石本 道明**

専門分野 中国古典文学

講座内容

渋沢栄一は、『論語』は現代には役に立たないという当時の風潮に対して、「青年諸君よ、余が八十余年の実績を見よ。安心して『論語』の教訓を実行せよ」と高らかにさとしています。この渋沢が信頼したのは、『論語』の「人を造る力」だったと考えられます。そしてこれは、江戸時代の庶民に爆発的に普及した原動力でもありました。人を造るとは、知識を常に実行することから始まります。その実践を学びの基礎に置いた『論語』だからこそ、現代でも生きる内容を豊富に含んでいると考えられます。

今回の講座では、まず江戸時代の庶民向けに書かれた絵本「孔子事蹟図解」で、孔子の生涯を知るところから始めましょう。その後、テキスト『孔子全書』を読み進みます。これは、『論語』の標準的解釈とされて絶大な影響力を持った朱子の『論語集注』に触れるためです。そして『論語』解釈の多様性を知るために、渋沢を始めとする日本人の解釈も紹介し、皆さんとともに考えて行きたいと思います。

『論語』は各章句が独立し、どこから読み始めてもよい構成になっています。新たに読み始める方も気づかいはありません。今期は、テキスト『孔子全書』巻7 論語7の32ページ子路篇308から読み始めます。

4月	23日
5月	21日
6月	4日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	19日
12月	3日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円



國學院大學博物館 企画展  
『論語 for Beginners-『論語』と格闘した江戸時代-』展示  
解説動画(YouTube)



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。



『孔子全書』巻7・論語7 吹野安・石本道明共著  
明徳出版社 2,500円(本体価格)



『論語 朱熹の本文訳と別解』 石本道明・青木洋司共著  
明徳出版社 1,900円(本体価格)

コーディネーター・講師



新

國學院大學  
教授・博士(文学)  
あさの はるじ  
**浅野 春二**

専門分野 道教儀礼研究

講座内容

本年度よりオープンカレッジにて漢文古典をテーマとする新たな講座を開くことになりました。

我が国がはじめに接した外国の文化は中国のものであり、日本人は中国文化の受容を通して自国の文化を形成し、自覚してきました。日本人にとっての古典とは国文学と漢文学を指します。國學院で探究されてきた学問においても、漢文学研究は重要な位置を占めています。

本講座では、5人の講師がそれぞれ独自の角度から漢文古典にアプローチします。時代の異なるさまざまな作品を対象とし、作品そのものを読み味わう講座や、読む方法に焦点を当てた講座を織り交ぜ、多角的な理解を目指します。

10月	12日、26日
11月	16日、30日
12月	7日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

第1回	『搜神記』に見る民間信仰的な神	國學院大學教授 浅野 春二
第2回	唐代における詩の役割と小説の役割	國學院大學教授(特別専任) 澤崎 久和
第3回	楚辞を読むこと—諸注釈を例として	國學院大學兼任講師 木村 剛大
第4回	ウェブで学ぶ漢文古典	國學院大學兼任講師 篠原 泰彦
第5回	『書経』に学ぶ	國學院大學准教授 青木 洋司



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

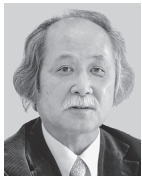
テキスト 資料を配付します

17

# 民俗伝承学から日本文化を読む1

—すぐ忘れる日本人の精神構造：民俗学の視点で日本歴史のなかにその形成過程を探る—

講師



國學院大學  
元教授・博士(社会学)  
国立歴史民俗博物館名誉教授  
国立総合研究大学院大学名誉教授

しんたに たかのり  
**新谷 尚紀**

専門分野 民俗学

### 講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤め後進を指導した大学です。その柳田國男の民俗学は歴史の中に「変遷」と「伝承」、そして「原因」と「結果」の動態を読み取ろうとした学問でした。

現在の日本が直面している国民の生活不安、政治経済外交の危機、それらはすべて歴史の中に原因があります。しかし多くの日本人はそれを深く考えず、不都合な事件もすぐに忘れてしまいがちです。柳田國男は日本の敗戦という廃墟の中で『先祖の話』を書き、学問こそが世の中をよくしていく力だとのべていました。それに学びながら、稲作の定着から律令制下の税制へ、古代後半から中世の武士による年貢徴収とあいつぐ戦乱、幕府絶対の近世の強権社会の到来の中で醸成された集团的思考と行動、誰も責任をとらない傍観と評論、自立と自律ができにくい日本人になってしまったことを、近代史から現代史にいたる通史的な視野の中で分析し、批判や悲観だけではなく、どうすれば日本人の有力な点にも注目し、自信をもって危機から回復し改良していけるか、民俗伝承学の視点から考えてみます。

- 第1回 柳田國男は廃墟の中で—『先祖の話』
- 第2回 稲作の定着と日本人—古墳とは何か
- 第3回 律令制から荘園公領制へ—院政が武家政権を生んだ
- 第4回 武士の宿命—戦略と戦勝：殺し合いは当たり前
- 第5回 日本文化と日本人—信仰・思想・芸能

水曜日

14:30~16:00

4月	10日、24日
5月	8日、22日
6月	5日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円



『すぐ忘れる日本人の精神構造史—民俗学の視点から日本を解剖— 新谷尚紀 さくら舎 2024年2月6日刊行』

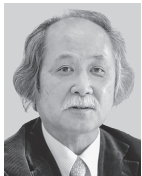
対面講座

18

# 民俗伝承学から日本文化を読む2

—すぐ忘れる日本人の精神構造：民俗学の視点で日本歴史のなかにその形成過程を探る—

講師



國學院大學  
元教授・博士(社会学)  
国立歴史民俗博物館名誉教授  
国立総合研究大学院大学名誉教授

しんたに たかのり  
**新谷 尚紀**

専門分野 民俗学

### 講座内容

國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤め後進を指導した大学です。その柳田國男の民俗学は歴史の中に「変遷」と「伝承」、そして「原因」と「結果」の動態を読み取ろうとした学問でした。

現在の日本が直面している国民の生活不安、政治経済外交の危機、それらはすべて歴史の中に原因があります。しかし多くの日本人はそれを深く考えず、不都合な事件もすぐに忘れてしまいがちです。柳田國男は日本の敗戦という廃墟の中で『先祖の話』を書き、学問こそが世の中をよくしていく力だとのべていました。それに学びながら、稲作の定着から律令制下の税制へ、古代後半から中世の武士による年貢徴収とあいつぐ戦乱、幕府絶対の近世の強権社会の到来の中で醸成された集团的思考と行動、誰も責任をとらない傍観と評論、自立と自律ができにくい日本人になってしまったことを、近代史から現代史にいたる通史的な視野の中で分析し、批判や悲観だけではなく、どうすれば日本人の有力な点にも注目し、自信をもって危機から回復し改良していけるか、民俗伝承学の視点から考えてみます。

- 第1回 開国と欧米化—立憲国家と天皇大権
- 第2回 帝国内陸海軍と産業革命—外見の強力と内実の脆弱
- 第3回 敗戦と和製「民主主義」—民主主義と衆愚政治
- 第4回 経済発展と失われた危機管理能力—IT時代を開いたアメリカ社会
- 第5回 日本凋落の近因—「形式」と「素材」、その適切性

水曜日

14:30~16:00

10月	2日、16日
11月	13日、27日
12月	11日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円



『すぐ忘れる日本人の精神構造史—民俗学の視点から日本を解剖— 新谷尚紀 さくら舎 2024年2月6日刊行』



講師



國學院大學  
教授・博士(文学)  
おおいし やすお  
**大石 泰夫**

専門分野 民俗学・上代文学



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講師



新

國學院大學  
教授・博士(文学)  
いいくら よしゆき  
**飯倉 義之**

専門分野 □承文学・民俗学・  
現代民俗



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講師



新

國學院大學  
教授・博士(文学)  
いとう りょうへい  
**伊藤 龍平**

専門分野 伝承文学(近世説話・  
□承説話)



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

古典文学と民俗伝承を結びつけて研究する方法は、國學院大學の古典文学研究と民俗研究の大きな特色です。

この講座では、それをわかりやすく講じてみたいと思います。講義は大きく分けて3通りの内容を考えています。

- 1) 日本全国の祭りや芸能への誘い
- 2) 古典文学を民俗学的視点から読む
- 3) 古典文学の現代的な伝承

今年度は國學院大學で民俗学の中でも、「上代文学と民俗芸能」(大石)、「□承文芸と古典文学・文人の伝承」(伊藤)、「□承文芸と現代民俗」(飯倉)を担当している3人がこの講座を担当します。それぞれが、いつ担当するかは最初の授業の時に話しします。

4月	20日
5月	18日
6月	8日、22日
7月	13日
9月	28日
10月	19日
11月	9日、30日
12月	14日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『伝承文学を学ぶ』 小川直之他 清文堂 2021年 『祭りの年輪』 大石泰夫 ひつじ書房、2016年  
『怪談おくのほそ道』 伊藤龍平 国書刊行会 2016年 『怪人熊楠、妖怪を語る』 飯倉義之他 三弥井書店 2019年

20

吾妻鏡を読む

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授・博士(史学)  
たかはし ひでき  
**高橋 秀樹**

専門分野 日本中世史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

鎌倉幕府の歴史書『吾妻鏡』は、鎌倉時代を知るための基本史料です。徳川家康の愛読書であったことが知られており、明治以来の中世史研究は、『吾妻鏡』とともにあったと言ってもいいほどです。

従来の鎌倉時代史研究は、『吾妻鏡』をなぞることで進められてきましたが、最近になって、編纂物である『吾妻鏡』が何を原史料や情報源にしているのかを考えることで、『吾妻鏡』が事実を伝えている部分と、創作を加えている部分とを識別し、鎌倉時代の政治史を再構築しようとする研究が登場しました。

今年の講座では、源頼朝の挙兵として知られる治承4年(1180)8月の山木討ち前後の記事を取り上げ、解説を加えながら、じっくりと丁寧に読み進めていきます。一緒に『吾妻鏡』の世界に踏み込んでみましょう。

10月 3日、17日

11月 14日、28日

12月 12日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『新訂吾妻鏡— 頼朝將軍記1』 高橋秀樹編 和泉書院 3,900円(本体価格) 2015年  
『対決の東国史2 北条氏と三浦氏』 高橋秀樹 吉川弘文館 2,000円(本体価格) 2021年

対面講座

21

徳川家康の再評価Ⅱ

月曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授・博士(歴史学)  
やべ けんたろう  
**矢部 健太郎**

専門分野 日本中世史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

近年の研究により、戦国時代の足利將軍の再評価が進み、かつて「無力な存在」とされていた彼らがそれなりの求心力を持っていたことが明らかになった。それにより、足利義昭・織田信長の関係性を見直すのみならず、信長個人の人間性を再評価することも必要になった。同時に、豊臣政権研究の進展もめざましく、従来の通説の中にも多くの問題点が指摘されている。足利將軍・織田信長・羽柴秀吉に関する見直しが進んだということは、当然のことながら、徳川家康についても再検討が必要になった、ということである。家康と、彼を取り巻く人々の「新たな歴史」について、関連史料をもとに見つめ直してみたいと思う。令和5年度は竹千代時代の今川義元との関係性から始め、武田勝頼と対峙した長篠の戦いまでを取り扱った。今年度は、それ以降の家康と周辺人物との関わりについて検討していきたい。

4月 22日

5月 20日

6月 3日、17日

7月 1日

■単位数 1単位  
■受講料 11,000円

テキスト 資料を配付します

# 22

## 歴史にみる日本の地域と景観 —歴史地理学入門—

火曜日  
14:30~16:00

講師



新

國學院大學  
准教授・博士(歴史学)  
川名 禎  
かわな ただし

専門分野 文学的景観・絵図・  
景観・城下町・近世  
都市・歴史地理学



二次元コードより、講師情報の  
詳細をご覧ください。

### 講座内容

この講座は、過去の地理空間を究明する歴史地理学について、その学問の特徴や問題関心を様々な事例を交えて学ぶ入門講座です。「地域」や「景観」という用語は、地理学の重要なキーワードですが、これをもとに過去の日本の空間を紐解きます。主として近世・近代の歴史地理学に絞り、地域や景観に残る歴史の痕跡や近世都市における景観の形態や機能について、さらに歴史的な地域の広がりや地域を結びつける交通などについて、地図や景観写真をみながら学びます。身近な風景の中に歴史の痕跡を見つけるコツがわかれば、日常生活の風景も変わって見えるかもしれません。そのような講義を目指します。

- 第1回 歴史地理学とは？
- 第2回 日本の類型地域
- 第3回 近世日本の歴史的地域
- 第4回 近世都市の景観と機能1 (城下町①)
- 第5回 近世都市の景観と機能1 (城下町②)
- 第6回 近世都市の景観と機能2 (宿場町)
- 第7回 近世都市の景観と機能3 (鉱山町)
- 第8回 近世都市の景観と機能4 (市場町)
- 第9回 水上交通の発達 (年貢米輸送と舟運の発達)
- 第10回 近代交通網の発展 (「鉄道忌避伝説」の謎)

4月	16日
5月	14日、28日
6月	11日、25日
9月	24日
10月	8日、22日
11月	12日、26日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『歴史地理調査ハンドブック』 吉田敏弘ほか編 古今書院  
『歴史がつくった景観』 浅香勝輔ほか 古今書院

# 23

## 江戸時代の古文書を読む

金曜日  
12:50~14:20

講師



國學院大學  
名誉教授・博士(歴史学)  
根岸 茂夫  
ねがし しげお

専門分野 日本近世史

### 講座内容

くずし字で書かれた江戸時代の古文書を、受講の皆さんとわかりやすく読み解いていきます。江戸時代の古文書は20億点あるといわれますが正確な数は分からず、活字になって読めるのはおそらく1~2%に過ぎません。未刊でくずし字の古文書を解読すると、さまざまな新史実を知ることができ、その背景を考えていくと江戸時代の社会や政治の特徴が浮かび上がってきます。

ところで、古文書解読の解説書は数多く出版されていますが、そうした書籍を勉強するだけで古文書を読むのはなかなか難しいことです。それは解説書の多くが、くずし字の形を「覚えなさい」と教えているからです。この講座では、覚えるよりも、なぜこんなくずし方をしたのかと、くずし字の特徴を理解しながら、江戸時代の歴史のおもしろさを古文書から実感していきましょう。なるべく現物の古文書を見る機会を設けたいと思います。

昨年度に続いて、江戸時代の流れを理解できるように時代を追って古文書を読んでいます。今期は徳川秀忠から家光の時代に、幕政が大きく転換する内容の古文書を読むつもりです。

4月	12日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
10月	4日、18日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『新編近世古文書解読字典』 柏書房(1993年刊)など、古文書字典1冊を用意されると便利です。



講師



國學院大學  
客員教授  
産経新聞編集局編集委員

久保田るり子

専門分野 国際関係、安全保障、  
アジア情勢、朝鮮半島  
問題、日本外交

講座内容

2024年、欧州ではウクライナ戦争、中東ではイスラエル・パレスチナ紛争の終わりが全くみえてこない。私たちはいま、国際社会の大きな枠組みの変化を目のあたりにしている。第二次世界大戦後のいわゆる「戦後体制」はウクライナ侵攻により崩壊し、新たな危機の時代を迎えることになったのである。アジア情勢もまた、こうした世界秩序の変化と密接に連動し情勢は刻々と変わりつつある。中国の立ち位置、インドの存在感、アジア諸国の国益もわかりだ。この有機体のように連動していく現在の国際情勢を、どうとらえるのか。そして、そんな世界の中で日本は何をを考えていくべきなのだろうか。この講座ではそういった問題意識で、地域情勢や日本外交を概観していく。特に、日本と取り巻く環境はさわめて特殊といえよう。太平洋を挟んで覇権を競う米中という大国のはざまにあり、しかもロシア、北朝鮮とも海を隔て隣接している。見回せば北朝鮮を含め米中露朝という核保有国に接している。私たちはいま一度、日本外交の課題とその問題点をしっかりと押さえておく必要があるだろう。

4月	12日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
10月	4日、18日
11月	8日、22日
12月	6日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 『ウクライナ戦争と激変する国際秩序』 並木書房

対面講座

以下の項目について、  
ご注意くださいますようお願い申し上げます。

- 基本的にレジユメの郵送は行っておりません。
- 一部講座では講師ご本人が各回のレジユメを保管している場合がございます。
- 前の時間の講座が終了するまで教室に入らないでください。
- 欠席のご連絡は必要ありません。

【その他問い合わせはこちら↓】

國學院大學エクステンションセンター 渋谷キャンパス若木タワー3階

〈TEL〉 03-5466-0270

〈e-mail〉 jigyou@kokugakuin.ac.jp

講師



國學院大學  
客員教授  
京都芸術大学教授  
元NHKアナウンサー  
まつだいら さだとも  
**松平 定知**

講座内容

本講座で「全国の城60城」を取り上げたのは、コロナの所為で中止させられていた対面授業が3年ぶりに復活した2022年のことだった。以来1年20城ずつ取り上げて本年度が最終年度となる。この3年間、一回の授業で、日本の北と南から一城ずつ、日本の全都道府県を網羅することを原則にした。例えば、一回目は松前城と首里城、といった具合だった。この、「一回の授業で北と南を一城ずつ」は、ほぼ予定通り進んだが、「1年20城は3年で60城」だから、日本の全都道府県が47であることを考えれば、当然重複する場所が出てくる。なるべく「話題性のある城」を冷静に選んだつもりだが、受講者の中には、「あれを選ぶなら、こっちだろう」というご不満もありませんでした。そうしたご不満のすべての責任は私にある。申し訳ない。それにしても、1回の授業が90分で、それが年に10回。トータル3年分だから2700分。ということは45時間。余り論理的な比喻ではないけれど、この時間量はほぼ2日、飲まず食わず眠らずで、只管、日本の城について語った、ことになる。サブタイトルにあるように、本講座は城の構造よりはその城を巡る人間模様を重点を置いた。さあ、「60城に関する人間模様」は、今年いっぱいで大団円になる。そして、私の國學院授業も、これで大団円。長い間、ありがとうございました、みなさん。

4月	22日
5月	20日
6月	3日、17日
7月	1日
9月	30日
10月	21日
11月	11日、25日
12月	9日

■単位数 2単位  
■受講料 22,000円

第1回	山梨県躑躅ヶ崎館と、滋賀県佐和山城——武田信玄と石田三成
第2回	福井県福井城と、滋賀県彦根城——結城秀康と井伊直政
第3回	滋賀県小谷城と、滋賀県安土城——浅井長政と織田信長
第4回	愛知県名古屋城と、愛知県清州城——徳川宗春と三法師
第5回	兵庫県姫路城と、兵庫県伊丹城——小寺政職と官兵衛と半兵衛と荒木村重
第6回	静岡県駿府城と、静岡県掛川城——家康とお福と千代と山内一豊
第7回	岐阜県岐阜城と、奈良県高取城——斉藤道三と筒井順慶
第8回	三重県松坂城と、三重県伊賀上野城——蒲生氏郷と藤堂高虎
第9回	広島県広島城と、大阪府大阪城——福島正則と豊臣秀頼
第10回	京都府伏見城と、京都府二条城——秀吉、家康、忠家と徳川慶喜

## 実技講座「書道」の受講にあたって

※必ず事前にご一読ください

### 実技講座「書道」をご受講の皆様へ

●受講料は1講座 一律「25,000円」です。今年度は、2名の講師による開講となります。

※受講料の割引制度の適用外となります。予めご了承ください。

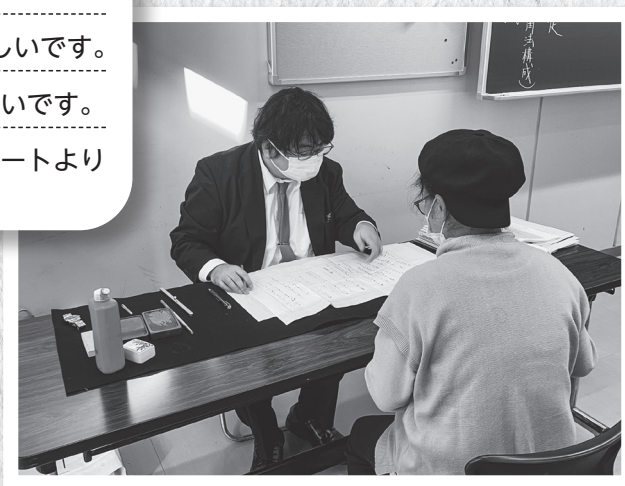
- 渋谷キャンパスで開講します。
- 半期 10回 の講座です。
- 先着順となります。前期後期とも同時に受付開始ですので、ご受講を希望する場合は一緒にお申し込みください。

※一部テキストは、國學院大學生協(渋谷)のみの取り扱いとなります。

詳細は、各講座内容をご確認ください。

- 内容が豊富でとても良い勉強になりました。
- 毎回、先生がとても熱心に教えてくださいます。
- 基本から丁寧に教えて頂きました。
- 学校で学べるのが非常に嬉しく、とても楽しいです。
- 毎回直接教えて頂けるのが、とてもありがたいです。

受講者アンケートより



「仮名(二)」講座風景(令和5年度)



26

漢字(一)〈中級・上級〉 一行書・般若心経一

月曜日  
10:30~12:00

講師



國學院大學  
准教授

のむら  
**野村 ひかり**

専門分野

書道・中国書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

本講座では、大筆を用いて、行書で「般若心経」を学びます。  
手本とする名品は、趙孟頫(1254-1322)筆による「般若心経」です。  
趙孟頫は、南宋の宗室の出身ながら元代においても高官にのぼり、元代の書画を領導した文人として知られています。2022年に没後700年を迎え、近年とみに研究・評価に進展を見せています。  
その書は王羲之(321-379 異説あり)復古を基調とするもので、本講座では、羲之の文字を集字した「般若心経」を趙孟頫がどのように学んだかを考えていきます。  
行書の基本から学ばれる方にも、ご経験者の方にも適した内容です。ご経験の有無に応じて、個別に対応させていただきます。  
講座第1回目に書道用具一式をご持参ください。書道用具をお持ちでない方は、第1回目に説明させていただきますので、その後ご購入ください。(第1回目はお貸しいたします)  
テキストは、第1回目の講座前に、本学生協(3号館地下1階)にてお求めください。

4月	15日、22日
5月	13日、20日、27日
6月	3日、10日、17日、24日
7月	1日

- 単位数 2単位
- 受講料 25,000円
- 定員 25名(先着順)

テキスト

『集字聖教序 墨皇本與趙孟頫臨本』 文物出版社  
3,456円(國學院大學生協販売価格)

参考書

決定版「中国書道史」 角井博監修 芸術新聞社 2,800円(本体価格)

27

漢字(二)〈中級・上級〉 一集字聖教序一

月曜日  
10:30~12:00

講師



國學院大學  
准教授

のむら  
**野村 ひかり**

専門分野

書道・中国書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

『集字聖教序』は、王羲之(321-379 異説あり)の行書を習う手本として、唐代以来重んじられてきました。行書を学ぶには避けて通れない基本的な古典ではありますが、習う視点がとても難しい題材です。それは王羲之の没後約300年に羲之の文字を集字してつくられたものだからです。王羲之の真の姿はどのようなものであったのか、文字を構築する一本一本の線はどのようにとらえて学ばべきか等、正解はありません。  
そこで本講座では、趙孟頫(1254-1322)という元代を代表する書家がどのように『集字聖教序』をとらえたかという視点で学んでいきます。  
趙孟頫の気品あふれる作風や、しなやかで強靱な線を参考にすることは、王羲之に想いを馳せる学びでもあり、初学の方からご経験者の方まで心地よい空間を共有できることと思います。  
後期から受講の方も歓迎いたします。  
ご経験の有無に応じて、個別対応させていただきます。  
講座第1回目に書道用具一式をご持参ください。書道用具をお持ちでない方は、第1回目に説明させていただきますので、その後ご購入ください。(第1回目はお貸しいたします)  
テキストは、第1回目の講座前に、本学生協(3号館地下1階)にてお求めください。

9月	30日
10月	7日、21日、28日
11月	11日、18日、25日
12月	2日、9日、16日

- 単位数 2単位
- 受講料 25,000円
- 定員 25名(先着順)

テキスト

『集字聖教序 墨皇本與趙孟頫臨本』 文物出版社  
3,456円(國學院大學生協販売価格)

参考書

決定版「中国書道史」 角井博監修 芸術新聞社 2,800円(本体価格)

28

仮名(一)〈中級〉－仮名書道の楽しみ(散らし書き)－

月曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
教授・博士(芸術学)  
はしもと たかあき  
**橋本 貴朗**

専門分野 書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

仮名書道独特の表現方法の一つに、散らし書きがあります。行の長短・高低、また行間の広狭などを変えることによって、紙面に変化と統一感を与えようとするものです。

本講座では、散らし書きの基本とバリエーションを、昭和を代表する書家の一人・桑田笹舟(1900—1989)が提唱した三角法構成(紙面に何らかの三角形を想定します)に基づいて、学んでいきます。古筆(古人の筆跡)から、創作への展開を企図するものでもあります。

必要な用具・用材については、講座第1回で説明します(第2回以降、必携)。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

4月	15日、22日
5月	13日、20日、27日
6月	3日、10日、17日、24日
7月	1日

- 単位数 2単位
- 受講料 25,000円
- 定員 25名(先着順)

テキスト 資料を配付します



『かな』の疑問100 村上翠亭著 芸術新聞社 2,200円(本体価格)  
原寸手本 はじめてのかな2『半紙に和歌を書く』 村上翠亭著 二玄社

29

仮名(二)〈中級〉－寸松庵色紙－

月曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
教授・博士(芸術学)  
はしもと たかあき  
**橋本 貴朗**

専門分野 書道・日本書道史



二次元コードより、講師情報の詳細をご覧ください。

講座内容

「寸松庵色紙」は、平安時代の仮名古筆を代表する散らし書きの優品で、現在40葉ほどが知られています。いずれも舶載の美しい唐紙に『古今和歌集』の四季の歌を書写したもので、11世紀後半の成立と推定されます。名前に「色紙」とありますが、もともとは冊子本でした。

本講座では、その散らし書きの特質をはじめとして、筆法(筆の使い方)や料紙(書かれた紙)、装丁(本の仕立て方)等、様々な観点から丁寧に見ていくことで「寸松庵色紙」に対する理解を深めるとともに、仮名書道の技法の一層の習熟を目指します。原寸臨書を中心に、倣書(特定の書風を模倣して書くこと)にもチャレンジしたいと考えています。

必要な用具・用材については、講座第1回で説明します(第2回以降、必携)。第1回を除き、各回ともに講義と実習が、およそ半々の予定です。なお添削は、講座2回につき1回程度となる場合もあります。

9月	30日
10月	7日、21日、28日
11月	11日、18日、25日
12月	2日、9日、16日

- 単位数 2単位
- 受講料 25,000円
- 定員 25名(先着順)

テキスト 資料を配付します



日本名筆選12『寸松庵色紙』 伝紀真之筆 二玄社  
『かな』の疑問100 村上翠亭著 芸術新聞社 2,200円(本体価格)

# オンライン公開講座専用HPのご案内

## オンライン公開講座とは

高等教育機関として培った知見やノウハウを広く社会に還元することを目的に、令和3年度から開設いたしました。年齢・性別・学歴・地域等を問わず、多様化した時代にふさわしい講座の発信をまいります。

主にオンデマンド（録画配信）で講座を展開しており、ご都合の良いお時間に何時でも、期間内に何度でもご受講いただける講座となっております。

## オンライン公開講座専用HP

(<https://kokugakuin.sa-advance.com/>)では、

①情報検索、②お申込み、③受講を行うことができます。

詳細は上記URL、または右記二次元コードからご覧ください。



二次元コードからも  
ご覧いただけます。

## HPトップ画面

簡単に講座を  
検索!!!



ここがポイント!

- ①実施中講座のご紹介から、その場ですぐにお申込みが可能
- ②クレジット決済・ペーパーレス決済(コンビニ支払)対応で、すぐにお支払い手続きが完了
- ③申し込み完了後、マイページから期間内何時でも受講可能

※申し込みの際に、**会員登録（無料）**が必要となります。



# 講座受講までの流れ

## ステップ① 講座の申し込み

受講したい講座を検索  
「受講申し込み」をクリックして、手続きを進めてください。  
※初回のみ、会員情報の登録(無料)が必要です。

## ステップ② 受講料のお支払い

決済方法は以下のどちらかを選択できます。  
①クレジットカード決済  
②ペーパーレス決済 (コンビニ支払い)  
※スマートフォンなどの画面に表示されるバーコード・払込用番号を利用してレジ、店頭に設置されているマルチメディア情報端末で代金を支払います。

申込完了画面に表示されるURLからお支払い方法を選択してください。  
申込完了から3日以内に受講料をお支払いください。  
※お支払いが完了しないと講座の受講はできません。  
※テキストの扱いは各講座により異なります。講座詳細のテキスト欄を参照してください。

## ステップ③ マイページから講座を受講

クリックして、講座を受講!!

お申し込み完了後、マイページにログインできます。

ご不明点等ございましたら、  
エクステンションセンター  
までお問い合わせください。

☎03-5466-0270

✉  
jigyoku@kokugakuin.ac.jp

# エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

## オンライン公開講座

### ①「死者と生きるー私たちは死といかに向き合ってきたのかー」

主催 國學院大學

(講座コーディネーター：大道 晴香 (國學院大學准教授))

共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社

#### 講座概要

本講座では、これまで日本社会の中に存在してきた死生観について、とりわけ「死者との向き合い方」から考えてみたいと思います。人々が「死」をいかに捉え、死者との間にいかなる秩序を築いてきたのかを知ることは、反転して、私たちの「生」のあり方を照射することにもつながるでしょう。古代から現代に至るまで、人々の生活や社会のなかで育まれてきた「死者との向き合い方」を、多様な学問の観点からお話しいたします。

#### 講師・講座日程

回数	配信日 (金曜日)	タイトル	講師
第1回	6月7日	人間・遺体への認知とモニュメント化 ー原始・古代日本列島の場合ー	笹生 衛 (國學院大學教授)
第2回	6月21日	中近世の日本人と「死後」のイメージ	今井秀和 (共立女子大学講師)
第3回	7月5日	死者との距離 ー葬送の場と人ー	川嶋麗華 (國學院大學助教)
第4回	10月4日	社会的な死の文化史 ーハンセン病者をめぐる儀礼ー	柏木亨介 (國學院大學准教授)
第5回	11月8日	民話にみる死と生 ー蘇生・鎮魂・転生ー	飯倉義之 (國學院大學教授)

#### 受講料

11,000円 (全5回) 1回の講座時間：90分

#### 配信方法

オンデマンド (録画配信) ご都合の良いお時間に、期間内何時でもご受講いただけます。

#### 申込締切

令和6年5月30日(木)

◆②「渋谷学」③「健康」④「観光」講座を順次開講いたします。情報確定次第、オンライン公開講座専用HP、大学HPにて情報を公開いたします。

## 公開古典講座

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の、夏季短期集中講座です。

講座内容、お申し込み方法等詳細は、6月中旬に情報を公開いたします。



「公開古典講座」講座風景 (令和5年度)

## 國學院大學博物館のご紹介

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古・神道・校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、オンラインミュージアムでも展示をお楽しみいただけます。

**開館時間** ■ 10:00～18:00(入館は17:30まで)

ミュージアムショップ：10:30～17:30

**開館日** ■ 通年(土・日・祝日含む)

**休館日** ■ 月(祝日を除く)

※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

**入館料** ■ 無料

**問合せ先** ■ TEL：03-5466-0359

URL：http://museum.kokugakuin.ac.jp/

ミュージアムショップにて、図録、展示関連書籍、オリジナルグッズなどを販売しています。



## 國學院大學萬葉の花の会

平成5年、たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開設いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

**開催時期** ■ 9月中旬(予定)

**会場** ■ 國學院大學 たまプラーザキャンパス(予定・詳細は、毎年7月頃決定となります)

**会費** ■ 2,000円(学生1,500円)

※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。

**萬葉弁当代** ■ 萬葉弁当代 ※申込時の事前受付のみ 1,200円

**発行物** ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。

萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されています。また、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。

毎年12月頃発行

※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)

### 問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志(國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0891 FAX 03-5466-0163



# オープンカレッジ申し込み方法

## 【STEP①】 申込



### FAXの場合

パンフレット付属の受講申込書  
(FAX用)に必要事項を記入  
※払込取扱票まで全て記入して  
ください



### ハガキの場合

パンフレット付属のハガキに必  
要事項を記入(両面)  
※個人情報保護シールも是非ご  
活用ください。



### メールの場合

二次元コード、またはURLより  
受講申込書(Excel)をダウン  
ロードし入力



受講申込書二次元コード  
(<https://x.gd/bStAE>)

- 新規→受講料 + 入会金
- 継続→受講料のみ

※会員区分によって金額が異なる為、次ページの  
「会員区分一覧表」を必ず確認しながらご記入ください

## 【STEP②】 発送

払込取扱票を切り離さずに  
エクステンションセンターへ  
FAXする  
送信先↓  
**03-5466-0394**

63円切手を貼付のうえ投函。

受講申込書(Excel)を保存し、  
メールに添付して送信。  
送信先↓  
**jigyoun@kokugakuin.ac.jp**

### 添付書類の提出が必要な場合は同送

※次ページの「会員区分一覧表」を確認

## 【STEP③】 振込

### 〈振込方法①〉

受講申込書(FAX用)の払込取扱票を記入し、  
下記のどちらかで振込。

- 郵便局
- ゆうちょ銀行ATM

### 〈振込方法②〉

ネットバンキングにて振込。

- 口座記号番号：00160-5-603401
  - 加入者名：國學院大學エクステンションセンター
- ※お間違いのないよう振込前に確認をお願いします。

**申込締切日：3月27日(水)**

## 受講証受領

3月以降、入金の確認ができ次第エクステンションセンターより順次発送  
新規の会員証は、受講証とともにお送りします

## 全講座先着順です。

- ◆各講座の定員状況を、随時大学HPにて更新いたします。ご確認のうえ、お申し込みください。
- ◆後期講座も一緒にお申し込みください。
- ◆定員に達した場合はお申し込みをお断りすることがあります。

各講座内容の  
ページで確認

### 会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金	添付書類
1	一般	全 額	¥5,000	
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000	科目等履修生証の写し ※毎年度提出
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000	
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000	学生証の写し ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料	学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000	在住を証明するもの (免許証・健康保険証等の写し) ※入会時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000	学生証の写し ※毎年度提出

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡ください。
- ◆実技講座「書道」は受講料の割引対象外です。

### 【お申込に関する注意事項】



- ◆申し込み締切日は**3月27日(水)**です
- ◆メール申し込み用の受講申込書URLはこちらです。➡(<https://x.gd/bStAE>) 受講申込書二次元コード
- ◆メールでのお申し込みにつきまして、FAX用受講申込書に記入したもののデータ(PDFまたはJPEG)で添付してお送りいただいてもかまいません。
- ◆FAXでのお申し込みの際は、払込取扱票を**切り離さず**に送信してください。
- ◆FAX・ハガキの到着、メールの受信確認、入金の確認連絡は致しておりません。
- ◆入金確認できた時点で申込完了となります。

# 申込記入例

## 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名 申込日：令和 6 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
01	神道を知る講座19	22,000 円
19	古典と民俗学4	22,000 円
28	仮名(一)〈中級〉	25,000 円
		円
		円

新規ご入会の方 →

入会金	円
合計	69,000 円

\*入会金は、31ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

- 1) 申し込みの手順は30・31ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)にてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名	紹介者 会員番号

- 申込書の送り方 (FAX送信等) について
- 1) このページを切り取り、直接FAX (申込書と払込取扱票を切り離す前) してください。  
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
  - 2) 受講申込書の受理連絡はいたしません。申し込み後直ちに受講料等を郵便局でお振込ください。
  - 3) この申込書をメールに添付 (PDF・JPEG) にて申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。 FAX 03-5466-0394 ●  
表と裏の向き (送信面) は合っていますか? e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

入会金は新規に入会される方のみお支払いください。

紹介者がいらっしゃる場合はご記入ください。

各票の捺印欄は、ご依頼人において記載してください。

払込取扱票

00 東京

口座記号番号 金額 千 百 十 万 千 百 十 円  
0 0 1 6 0 5 6 0 3 4 0 1 ￥ 6 9 0 0 0

加入者名 國學院大學エクステンションセンター

※ オープンカレッジ

会員番号 新規 20 × × × × × × × × 会員区分 ①・2・3・4・5・6・7

〒252-0206

住所 神奈川県相模原市中央区淵野辺五丁目977番地75

フリガナ コクガク タロウ  
氏名 國學 太郎

TEL 042-xxxx-xxxx (090-xxxx-xxxx)

e-mail kokugaku@xxxx.xx.jp

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)  
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号 金額 千 百 十 万 千 百 十 円  
0 0 1 6 0 5 6 0 3 4 0 1 ￥ 6 9 0 0 0

加入者名 國學院大學エクステンションセンター

おなまさま

ご依頼人 様

(印費税込み) 日 附 印

料金 円

備考

この受領証は、大切に保管してください。

全て記入し下半分(払込取扱票)を切り取らない状態でFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・3以外の方は添付書類が必要です。その後郵便局等で振込をお願いします。

オープンカレッジ会員の方は会員番号(8桁)を記入、新規の方は新規に○を付けてください。

同姓同名の方がいらっしゃいますのでご記入ください。

急な連絡のために必要となりますので携帯電話をお持ちの方は併せてご記入ください。



# 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：令和 6 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

入会金	円
合計	円

※入会金は、31ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

- 1) 申し込みの手順は30・31ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)にてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号							
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

申込書の送り方 (FAX送信等) について

- 1) このページを切り取り、直接FAX (申込書と払込取扱票を切り離す前) してください。  
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 受講申込書の受理連絡はいたしません。申し込み後直ちに受講料等を郵便局でお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付 (PDF・JPEG) にて申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394

表と裏の向き (送信面) は合っていますか?

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払込取扱票																	
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1	※							
加入者名	國學院大學エクステンションセンター										料金	備考							
ご依頼人	※ オープンカレッジ																		
	会員番号									会員区分	1・2・3・4・5・6・7								
	新規																		
住所																			
フリガナ																			
氏名																			
TEL																			
e-mail																			
生年月日	昭和・平成				年		月		日										
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)																			
これより下部には何も記入しないでください。																			

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

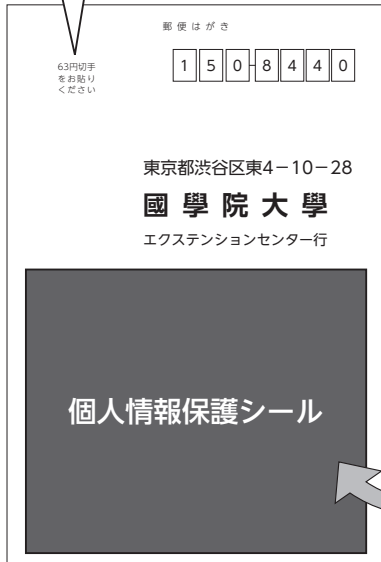
振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ						様	
料金	(消費税込み)						日附印	
	円							
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。

この受領証は、大切に保管してください。

63円切手を貼って  
投函してください



### 個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、  
はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



下  
半  
分  
を  
切  
り  
離  
す  
前  
に  
F  
A  
X  
し  
て  
く  
だ  
さ  
い

#### (ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

# 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名

申込日：令和 6 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

入会金	円
合計	円

※入会金は、31ページ「会員区分一覧」でご確認ください。

- 1) 申し込みの手順は30・31ページの「申し込み方法」をご覧ください。
- 2) 添付書類がある場合は、郵送もしくは、メールに添付(PDF・JPEG)にてお送りください。

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいらっしゃる場合ご記入をお願いします。

紹介者氏名		紹介者 会員番号							
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--

申込書の送り方 (FAX送信等) について

- 1) このページを切り取り、直接FAX (申込書と払込取扱票を切り離す前) してください。  
このFAXで申し込まれた方は、巻末のハガキを送る必要はありません。
- 2) 受講申込書の受理連絡はいたしません。申し込み後直ちに受講料等を郵便局でお振込ください。
- 3) この申込書をメールに添付 (PDF・JPEG) にて申し込むことも可能です。

下を切り離さずFAXしてください。

FAX 03-5466-0394

表と裏の向き (送信面) は合っていますか?

e-mail jigyou@kokugakuin.ac.jp

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払込取扱票																	
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1	※							
加入者名	國學院大學エクステンションセンター										料金	備考							
ご依頼人	※ オープンカレッジ																		
	会員番号									会員区分	1・2・3・4・5・6・7								
	新規																		
住所																			
フリガナ																			
氏名																			
TEL																			
e-mail																			
欄	生年月日	昭和・平成	年	月	日生														
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)																			
これより下部には何も記入しないでください。																			

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

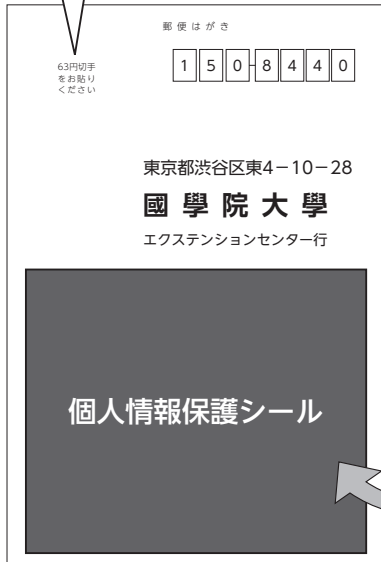
口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ						様	
料金	(消費税込み)	日 附 印					円	
備考								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。



63円切手を貼って  
投函してください



### 個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、  
はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。

※シールは1度貼ると貼り直しできません。



下半分を切り離す前にFAXしてください

#### (ご注意)

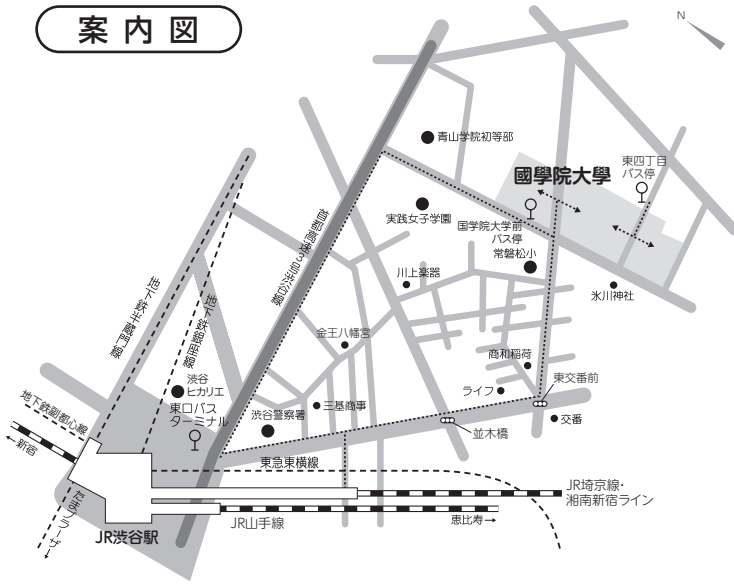
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

# 渋谷キャンパス

## 案内図



### 所在地

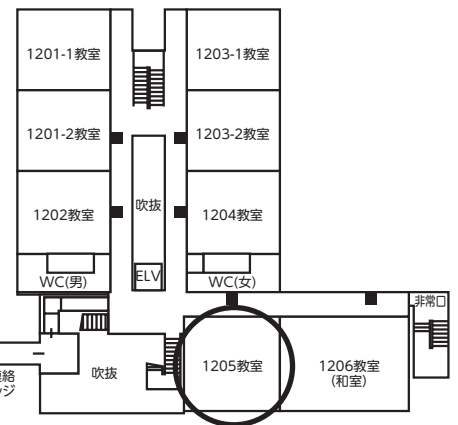
●〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

### 渋谷駅からのアクセス

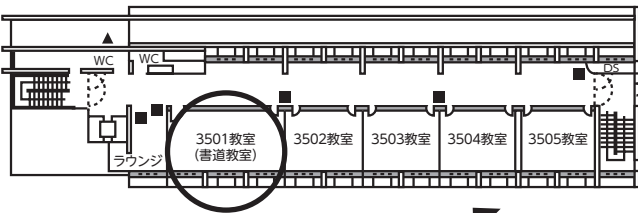
- 渋谷駅(JR各線・地下鉄各線・東急各線・京王井の頭線)から徒歩約13分
- 渋谷駅(JR各線)新南口から徒歩約10分
- 都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行)  
「国学院大学前」または「東四丁目」下車(運賃180円・IC178円)

## 120周年記念1号館

2F

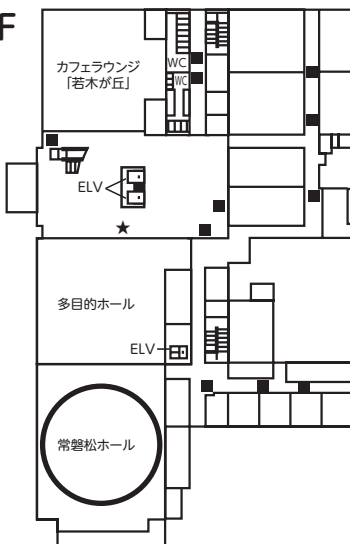


## 3号館 5F



## 学術メディアセンター棟

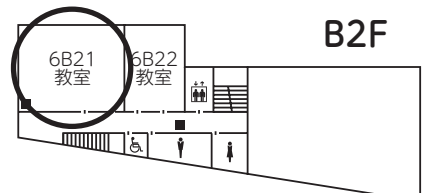
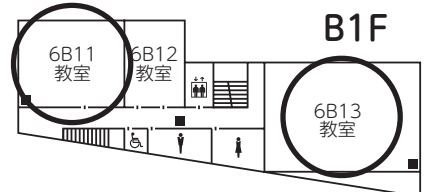
1F



■消火器  
★AED



## 総合学修館(6号館)





## 國學院大學エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0270

FAX 03-5466-0394

E-mail [jigyou@kokugakuin.ac.jp](mailto:jigyou@kokugakuin.ac.jp)